

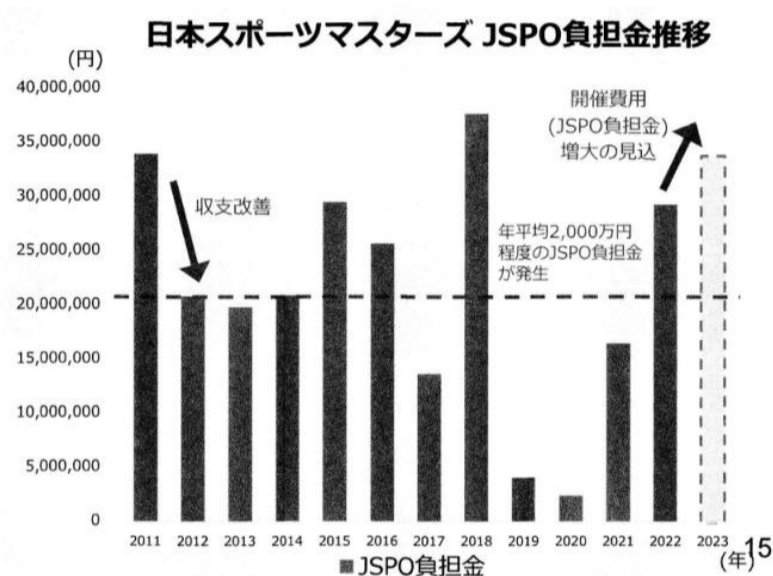
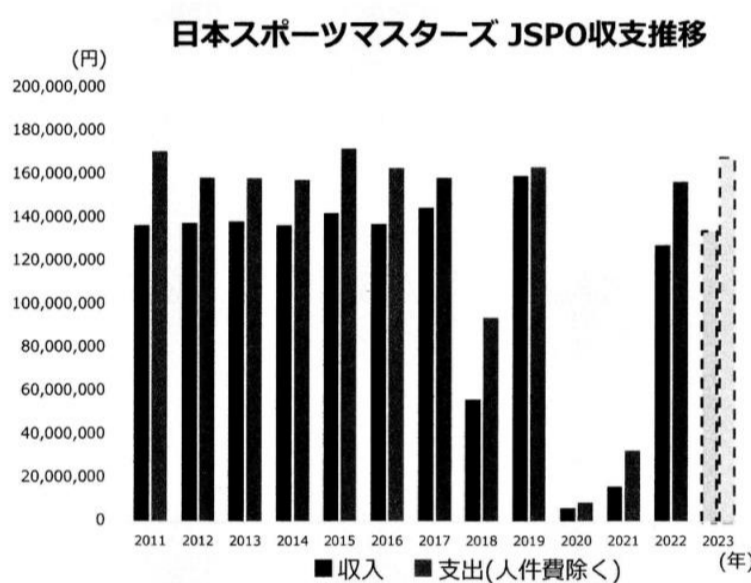
日本スポーツマスターズ 参加料の改定について

【令和5年度第1回日本スポーツマスターズ委員会】

検討の背景



- 2012年の参加料改定（参加選手1人3,000円→5,000円）を背景に収支は一定程度改善
 - それ以降も作製物等の見直しを進め、従前よりも年間900万円程度の経費を節減し、その間二度の消費増税の際も参加料は据え置き
- 【経費節減策】
- ▶開催地ごとに変更していた公式ポスターのデザイン統一 ▶PRリーフレット、総合ガイドブック等の印刷中止
 - ▶競技役員用ウェアの見直しなど
- しかしながら、JSPPOでは年平均2,000万円程度の負担金が発生
 - さらに、一部スポンサーの協賛見送りに加え、昨今の物価上昇に伴い開催費用増大の見込み
 - 大会の継続自体が危ぶまれる状況を少しでも避けるため、参加料も見直しを図る



改定方針案



- 2024年以降、参加料を1人8,000円（現行から3,000円値上げ）とする
また、選手と同様に物品・サービス等を楽しむ監督等スタッフ専任者からも参加料を徴収する
- 民間施設を会場とする競技では、参加者の施設負担金を一定程度引き上げる
- 参加料値上げと併せて、近年の課題のひとつとなっている競技運営スタッフ謝金を増額する



改定後の取組方針

- 経費節減に向けた継続的な取組み
- 参加申込システムを導入の上、参加者の利便性向上および配布物の電子化の推進
- 新規協賛社獲得のための大会の在り方の検討や運営形態の見直し